

# 「ユウセツザイ」漢字で書ける？

「このつぶつぶ、何か知ってる？」

「雪をとかすやつですよね。」

「『ユウセツザイ』だね。漢字で書ける？」

「うん。」

今朝登校してきた生徒と私の会話です。登校中に勉強をさせるつもりはありませんでしたが、生徒や自転車が滑らないようにと、朝一で教頭が撒いてくれた「ユウセツザイ」に気付かせたくて、思わず尋ねてしまいました。生徒の即答できなかった様子を見て、私には昔の思い出が蘇ってきました。

「漢字の力をつけたかったらね、NHKの午後七時のニュースをみて、アナウンサーの口から出てくる言葉を漢字で書いてみるといいよ。最初は難しいかもしれないけど、だんだん書けるようになるよ。」

私の中一の時の担任の教えです。それまでニュース番組に全く興味を示していなかった私は、その言葉をきっかけにして七時のニュースを見るようになりました。

トップニュースになるような政治や経済の話題には、私の漢字力は追いつきません。内容も難しく理解できませんので、鉛筆はほとんど動きません。しかし、事件や事故の話題では、回を重ねていくたびに、漢字で書ける言葉がどんどん増えていきました。

「ミメイ」「ショウトツ」「シショウシャ」「ソクシ」「ケイサツ」「ゲイン」……漢字で簡単にかける言葉から、一瞬迷いが生じる言葉、なかなか漢字が出てこない言葉などがありました。アナウンサーは待つてくれませんので、言葉を聞いて反射的に漢字が出てこなければ書ける言葉の数は増えていきません。なかなかハードな勉強法でした。

ニュースは三十分間。しかし、ずっとこの勉強法を実践することは無理です。自分の理解できそうなニュース、漢字がすぐに頭に浮かんできそうな内容のニュースが流れた時に、私は挑戦しました。すると、難しそうに思っていたニュースも聞いているうちに、少しずつ分かるようになりました。それからです、新聞を読みだしたのは。アナウンサーの語りを聞くことがきっかけとなり、私の勉強の場は新聞へと広がりました。

今朝の新聞記事からの抜粋です。あなたは――線のカタカナの部分を正確な漢字で書けますか。

「シンキカンセンシヤのノびが、ドンカする一方、ジユウシヨウカするコウレイ者のゾウカにタイサクが追い付かないジヨウキヨウが続き、セイフはケイカイを強める。」

一問一点、十点満点で答え合わせしてみてください。「こんな字、習ってない」などと言っていたら、「主体的」とは言えません。これを機会に、書いたり読んだりできるようなになればよいのです。ちなみに「ユウセツザイ」は「融雪剤」です。

(二月十七日 記)